



**視野を広げた水産業づくり**

スケトウタラ・ホッケ・カレイを主体とする沖合漁業、カレイ・タコ・ナマコ・ウニを主体とする沿岸漁業の操業体制の確立や栽培漁業への取組みをすすめます。

沿岸漁業の増大と漁場の生産力の向上を図るため、「とる漁業」から「つくり育てる漁業」をすすめます。

海洋資源の増大事業としては、クロソイ、ヒラメ、ニシン、の稚魚を留萌沖に放流し、さらに、マツカワ（ヒラメ類）を育て、コンブの養殖を漁業者の皆さんと一緒にすすめています。

水産加工業は留萌市の基幹産業であり、年間300億円（平成6年）の生産高を誇っています。特に塩数の子は全国シェアの50%を越え、留萌の加工生産高の80%を占める特産品となっています。

水産物の優れた栄養の特性を活かし、新製品の開発や需要の拡大を図るため、加工経営の効率化や水産加工品の市場を開拓します。



**■水産加工製品の生産高**

(各年末現在・単位：百万円)

|      | 数量     | 金額     |
|------|--------|--------|
| 平成2年 | 13,054 | 36,617 |
| 平成3年 | 12,114 | 34,705 |
| 平成4年 | 13,483 | 33,296 |
| 平成5年 | 11,155 | 29,491 |
| 平成6年 | 12,334 | 27,110 |

(注)平成6年は概数 (資料：留萌市統計書)

**知識が形になる工業づくり**

**市民が盛る商業づくり**

**浪漫と雄大さの観光づくり**

フェリー就航を目指す港湾整備・国道231号の拡幅・留萌海岸の整備・高規格幹線道路の早期完成を目指す中で、各商店街の街並みが大きく変わっています。

それに伴い集客要素を考慮した街並み景観づくりや、商店街の再開発事業、市立総合病院の移転新築、駅裏跡地の利用など、21世紀への留萌の発展が目に見えてきました。今までも、そしてこれから、自然美豊かなまちづくりをすすめます。

自然美豊かな留萌の観光資源の発掘をより一層すすめるとともに、既存の観光名所の整備とPR事業をすすめます。

海を活かした多目的なマリナレジャーの拠点として、日本海CPUビーチバレー大会や夕陽フォトコンテストなどを継続的に開催し、さらに、夏祭り最大の「るもい呑涛祭」や春を告げる「やん衆どすこほい祭り」など、ありとあらゆる観光資源を活かした、留萌の観光づくりをすすめます。



豊かな留萌の資源を  
いつまでも



未来を創造した  
私たちのまちづくり



農協青年部の皆さんと懇談会を開催したときに、農業を経営する方たちの深刻な問題の一つとして、高齢化と後継者問題がありました。また、減反による農地面積の減少や花嫁対策など、不安な状況の中で、品質の良い米作りや野菜、花などの副業、省力化としてヘリコプターを導入した、近代農業など新たなチャンスに向けての意気込みが感じられました。

留萌は稲作中心の農業だと思いません。米の問題として考えられるのが「冷害問題」「食害問題」「流通問題」などがありますが、生産・流通は品質、安全性を保ち、売り込む。また、低コスト化を図ることが必要だと思えます。

現在は、全国的に施設園芸が盛んになっています。花の栽培によ



る収入は、非常に高いと聞いています。

稲作から野菜づくりに転換している農家も少なくないと聞いていますので、野菜の青空市場などアイデアを出し合って、地場産品をいかに消費者に提供するか、良い方法を考えてみましょう。

フェリーの就航は米の輸送にも大きく役立ちます。流通形態を活かすために、道北地域の米、牛乳、野菜などの基地を作り、米は粳にして低温倉庫に保存し、コストを安くして、物価に応じて販売する方法もあります。

米の豊作、不作は4年サイクルでまわってくると、統計的に言われています。

食品として売り物にならない「お化けカボチャ」はインテリアとして人気があります。これからの農業振興はデーターを分析しながら、いろんなチャンスを活かしてすすめていきましょう。

留萌市の森林面積は24、929haで、総面積の84%を占めています。現代は、地球の温暖化や酸性雨による森林破壊がすすみ、人体に悪影響をもたらしている問題が、世界的に報道されています。

森林資源は水源のかん養、洪水の防止、山地崩壊防止、観光レクリエーションの場、まちなみ景観など、社会的な価値が一層高まっています。留萌市のイメージカラーを灰色から緑色にするため、神居岩、千望台、マサリベツ地域、ルモツベ憩いの森などの自然を整備するとともに、緑の回廊づくりや植樹を考慮した商店街の環境整備が必要だと思います。

**需要を創造する農業づくり**

**力強く育てる林業づくり**

ひとまちゆめみなど  
はばた 翔く留萌21  
RUMOI CITY  
第4次総合計画



Norihiko Naganuma  
市長 長沼憲彦

21世紀・留萌の発展のために

知恵を発揮する  
3「創造都市」  
産業振興計画

今月号は、知恵を発揮する産業振興計画「創造都市」をテーマに、次の6項目について皆さんと一緒に考えてみましょう。

1. 需要を創造する農業づくり
2. 力強く育てる林業づくり
3. 視野を広げた水産業づくり
4. 知識が形になる工業づくり
5. 市民が盛る商業づくり
6. 浪漫と雄大さの観光づくり